

&



平成17年度の入学式が4月5日、本校大講義室で行われた。第12回入学生は情報文化学科128名、情報システム学科193名の合わせて321名。式典では武藤学長、小澤理事長らが、語学・文化や情報技術の勉学とサークル活動などに自主自律で挑戦し、有益な4年間を過ごしてほしいと祝辞を贈った。新入生は6日から早速ガイダンス・合宿研修で交流を深め、桜の花もほころびはじめたキャンパスで希望を大きく膨らませ、学生生活のスタートを切った。

CONTENTS

4・5面

- 就職活動レポート
- 16年度卒業生主な就職先
- 資格取得奨励金授与式
- 「キャリア開発」開講のねらい
- スマトラ沖地震で支援活動

2・3面

入学式特集
湧 源

6・7面

- 退職教員の最終講義・退任あいさつ
- 新任教員紹介
- 数理社会学会開催
- 2004紀要発行案内
- 教員の研究活動

8面

- 進路ガイダンス・オープンキャンパス案内
- 18年度入試概要
- 本学奨学金
- 9~12面
- 卒業式特集

入学式

「希望と向学を胸に」

(※ 部抜粹)

学長告辭

四年間の一日一日を大切に
国際的視野と創造性を豊かに

新潟国際情報大学学長
武藤輝一

国語の中からいざれか一ヵ国語を選んで習得し、異文化並びに社会を理解し、社会のために貢献しうる人物を育成することを目指しております。

情報システム学科では、英語の習得とともに、グローバルに広く構築されている情報及びそのシステムの理論と実際を学び、その能力と知識を社会の中で生かし、あるいは情報システムそのものの発展に寄与しうる人物を育成することを目指しております。

さらに、このような専門教育の充実と同時に、両学科にわたり、基礎科目・共通科目を通して教養教育にも心がけています。また教育効果を上げるための少人数教育も特徴の一つであります。本学における教育・研究の目的とするところをご理解いただきたいと存じます。

小学校から中学校までの義務教育では、教科内容は画一的なものであり、一様に教育効果を一定レベルまで高め維持することに力が注がれるため、生徒の自主性を高めることは十分ではありません。しかし、皆さん大学卒業後は、好むと好まざるとにかかわらず、社会人として生きて行かなければなりません。

他人の意見に耳を傾け、周辺の状況を冷静に見極めることは申すまでもありませんが、何事にも自らの意思を持ち、自ら発言し、実行し、自らの価値観を持ち、自らの発言、行動に責任を持つことが大切になります。このこ

とを、これらの大学生活の規範としてください。自らの確固たる信念なしに、無分別に集団的思考の中に埋没してしまわぬよう、心がけてください。

これから的生活の中では、たくさんの人生の糧となるのではないか。皆さんは悩みや失敗にひるむことのない若さがあります。悩みや失敗の経験などは、むしろ皆さんのこれか

らの人生の糧となるのではないでしようか。ご存知の通り“片道切符の人生”では後戻りすることはできません。昨日という日はもう一度と来ることはあります。皆さんのが、大學生の一日一日を大切に、後悔いることのない、それぞれに意義のある生活を送られることを期待しております。

平成一六年度の国内総生産はやや上向きとなつたのですが、顕著なものではありません。このような状況を反映して、本年春の全国の大学卒業生の就職率も、前年度に比べやや上昇した程度であります。本学の卒業生も例外ではありません。在学中に、皆さんそれがに適した職業が選べますよう、職業というものをよく認識し、職業体験を持つように、本学でもキャリア教育やインターンシッ

り、本学の桜並木の開花も目の前に迫っています。徳川三百年の鎖国があと世界に開かれた五大港の一つである新潟港を持つこの新潟の街は、コスモポリタンの気風があり、人情厚きところもあります。皆さんが強い向学心をもつて勉学に勤しみ、心温かく、人間味にあふれ、かつ創造性豊かな社会人に成長することを心から期待し、皆さんを迎える言葉といたします。

理事長祝辞

感謝の気持ちを忘れずに
高い知識、技術を貪欲に吸収を



学校法人新潟平成学院 理事長

小澤辰男

本学は、これから時代に必要な国際的視野と情報技術をトータルに学び、ますます進む国際化、情報化に対応できる人材を育てることを目標に、平成六年に開学しました。

ロシア、中国、韓国との長い歴史をもつ新潟の特性を生かした大学をつくり、若い人にも欲しいとの願いのもと、新潟県、新潟市の助成をいただき、多くの企業からの寄附と合わせて開学したのです。

今、中国をはじめとするアジアの地域経済が注目されております。一方、スマトラ沖地震による大津波などの自然災害も地球規模で起こっております。このような中、新潟県でも昨年から、水害、地震、大雪などの災害にみまわれました。完全復旧にはまだ多くの時間を要しますが、一日も早い復興を願うばかりです。

本学においても三五名の在学生の家庭が被災されました。また新入生の中で一三名の家

本学創立の理念は、二二世紀の情報化社会並びに国際的視野を必要とする社会で役立つ能力がある人間性豊かな人物を育成することであります。

情報文化学科では、実用英語を学ぶとともに、英語、中国語、韓国語、ロシア語の四力

庭が被災されております。法人といたしましては、これらの方々に奨学金制度を適用し、復興のお手伝いの一助となることを願つております。

さて、新入生の皆さんには、これから四年間、本学において、優秀で個性豊かな教授陣に囲まれ、充実した教育環境のなかで、学園生活を送られることとなります。良き師、良き友を得、高い教養、専門知識や技術を貪欲に吸収し有益な四年間としてください。自らが学ぶという精神のもと、海外留学やインターンシップへも奨学金を措置しておりますので、積極的に参加して欲しいと願つております。



私どもは、最善の学校環境の提供と特色ある大学づくりに、さらに邁進して参ることをお約束いたします。ここにご列席の皆さまに、ご理解とご協力をお願い申し上げ、お祝の言葉をいたします。

歓迎の言葉



在校生代表 情報システム学科
塚野恭子

始まる新生活への緊張と期待でものすごくキドキしていたのを今でも覚えています。これから始まる大学生活は、今までの高校生活とはまったく違った面ばかりでとまどうことばかりでしょう。授業時間、授業内容、ルールなどガラリと変わることがたくさんあります。中でもまったく変わる重要なことは、自己管理ができるかどうか、自己責任を持てるかどうかです。その二点が高校生と大学生の大きな違いだと思います。大学は自由な分、自ら求めない限り虫害をしてくれる人は少ないので。その中でいかに自分の目標を見つけてそれに向かってどこまでいけるかが皆さんのが今後の課題だと思います。

私は今年度から三年生になりますが、これまでの二年間を本当にあつという間に感じています。もつとまじめに授業に臨めばよかったです、もつと資格を取るために頑張ればよかったです、もっと友達つくればよかつたな、など後悔している点もあります。もちろん中にはこれからできることもあるだろうけど、もう

新入生の皆さん、本日はご入学おめでと、ございます。皆さんは今日から大学生としての新たな生活を迎え、新しい環境への不安緊張いっぱいです。または期待に胸を彈ませている方もいらっしゃるでしょう。私は二年前の入学式、その日から

私の抱負



阿部大輔

これから社会に貢献できるよう
惜しまず努力することを誓います

私の抱負



阿部大輔

本日は、私たち新入生のためにこのようないい、素晴らしい入学式をも挙行していただき、また心のこもつたお言葉をいただきありがとうございました。

日本は、北朝鮮による拉致問題と核問題、韓国との竹島問題、中国との領海および海空資源の問題など、周辺国との間に多くの問題を抱えています。

これらは、日本の外交の弱さとあいまいさ、そして日本国民と他国民との温度差が現れた事例ではないかと思います。

どれも大きな問題ですが、ただ静観するのではなく一人ひとりがもう一度よく考えてみると前進するのではないかでしょうか。

湧源 YUUGEN

広報委

9・12面を卒業式の合同特集紙面とした
字長や理事長の儀の言葉にあるように、
将来の進路を見据えて充実した学生、社
会人生活を送るよう期待したい。それ
ぞの“春”が心新たにスタートした。
次号は7月発行の予定です。

新年度4月26号から本学広報誌「国際・情報」の題字を一新した。I & I をスクールカラーのブルーを基調にデザイン、前号に続く紙面刷新で、いっそくの内容充実を期して引き続々全学の協力をお願いします。

広報委員長 永井 武

湧 YUUGEN 源

広報委員長 永井 武

新年度4月26号から本学広報誌「国際・情報」の題字を一新した。I&Iをスクールカラーのブルーを基調にデザイン、前号に続く紙面刷新で、いつそうの内容充実を期して引き続き全学の協力をお願いします。

今回は初の試みで1~3面を入学式、9~12面を卒業式の合同特集紙面とした。学長や理事長の餞の言葉にあるように、将来の進路を見据えて充実した学生、社会人生活を送るよう期待したい。それの“春”が心新たにスタートした。次号は7月発行の予定です。

最後に、本学で学んでいくにあたって、本学の建学の理念を尊重し、未知に包まれて、この時代の未来に向かっていく中で自分のあらゆる可能性を見出し、これから社会に貢献できるよう惜しまず努力することを誓い、私の入学の抱負とさせていただきます。

また国内では、企業モラルの問題が大きく取り上げられ、通り魔などの犯罪が多発し、今期からはペイオフが解禁となり、法で規制しなければならないほど個人情報の漏えいが問題になっています。

それらに対応するために国際的な視野を広げ、情報を積極的に収集し、その中で真実の情報を見極める力をつけることが重要ではないでしょうか。

大学を高校の延長にするのではなく、自ら学び自ら知ることを望み、本学での四年間が私たちにとって意義深いものになるよう、しつかりと励んでいきたいと思います。

2005年

就職活動レポート

学内合同企業説明会

毎年2月に開催する「学内合同企業説明会」。今年は2月16日(水)・17日(木)の2日間にわたりて本学体育館を会場に実施されました。学生たちは、自分の興味ある企業のコーナーに積極的に足を運び、真剣に情報収集を行っていました。

今年も比較的天候に恵まれ、2日間で昨年を上回る県内外企業132社の人事担当者が出席。会場は学生の熱気に包まれていました。



ざらりとならんだ企業コーナーで真剣に情報収集

平成16年度卒業生 主な就職先一覧

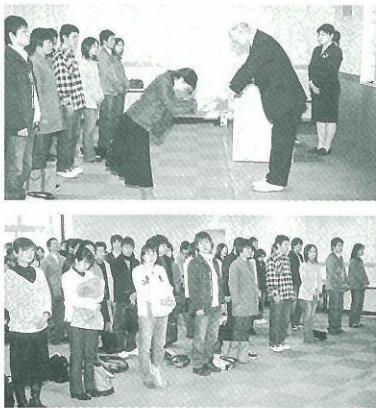
アークランドサカモト(株)
(株)アールインターナショナル
(株)アカデミー
味の素システムテクノ(株)
(株)アスク
イーグルブルグマン(株)
(社)茨城福祉会
(株)ヴァリック
(株)ウイング
(株)植木組
(株)ウォロク
(株)エイジェック
HLS(株)
(株)SFCG
(株)エフジー新潟
越後中央農業協同組合
越後プロパン(株)
NECソフト(株)
(株)NS・コンピュータサービス
(株)エヌ・シイ・ティ
(株)エヌ・ティ・エス
E L B E C 教育図書センター(株)
(株)オーシャンシステム
(株)金沢レジャー計画
(株)かも有機米
(株)カワマツ いづードセンター
北日本非破壊検査(株)
北日本物産(株)
協栄信用組合
(株)共栄鋳造所
キヨワコーポレーション(株)
(株)桐井製作所
(株)頸城建工
くまざわ
黒部農業協同組合
恵松会 河渡病院
(株)コメリ
(株)コロナ
サイバーコム(株)

ささみ農業協同組合
札幌オフィスコンピューター(株)
咲花温泉 翠玉の湯 佐取館
(株)三宝
(株)サンメック
C E C 新潟情報サービス(株)
シイエムケイ蒲原電子(株)
(株)ジェイマック
(有)ジョイフル
新発田信用金庫
シェイクハングループ (株)佐藤商事
(株)ジャパンネット
信越ペブシコーラ販売(株)
(株)伸和
シンワ測定(株)
(株)スリムビューティハウス
生活協同組合コープとうきょう
西友商事(株)
セコム上信越(株)
全国共済農業協同組合連合会
新潟県本部
(株)総研システムズ
(株)総合システムプロダクト
双峰通信工業(株)
(株)ソネット
ソフトバンクBB(株)
ダイア建設(株)
(株)第一印刷所
大協リース(株)
(株)第四銀行
(株)ダイナム
大和冷機工業(株)
(株)タチカワ
千葉金属工業(株)
中越運送(株)
中越クリーンサービス(株)
東京アブリケーションシステム(株)
東京コンピュータサービス(株)
東テク(株)

(株)トップカルチャー
トヨタカローラ新潟(株)
(株)鳥梅
中日本キャタピラーミシビ建機販売(株)
新潟セキ販売(株)
(株)新潟オービックシステムエンジニアリング
(株)新潟クボタ
新潟県警察
新潟県国民健康保険団体連合会
新潟県信用組合
新潟ケンペイ
新潟スマート自動車(株)
新潟ゼロックス(株)
新潟綜合警備保障(株)
(株)新潟第一興商
(株)新潟ダイハツモータース
新潟トヨペット(株)
にいがた南蒲農業協同組合
新潟日産自動車(株)
新潟日報販売(株)
(株)新潟日報旅行社
新潟マツダ自動車(株)
新潟熔材(株)
新潟ヨコハマタイヤ(株)
(株)ニッカズ
日産部品新潟販売(株)
日産プリンス新潟販売(株)
日本通運(株)
ニプロ(株)
日本歯科大学新潟歯学部
日本ソフテック(株)
日本ユニコム(株)
(株)ニユーズライン
新潟ネットヨタ新潟
NOVAグループ
(株)ハードオフコーポレーション
(株)パートナー・クオリティースタッフ
(株)原信
はるやま商事(株)

阪和興業(株)
東日本システム建設(株)
東日本旅客鉄道(株)
(株)ピット・エイ
(株)ピップVIP
(株)ピュア
(株)ひらせいホームセンター
(株)フォーラムエンジニアリング
富士運輸(株)
藤田金属(株)
(株)フジテック
(株)富士屋
(株)二葉屋
(株)PLANT
ブリヂストンタイヤ新潟販売(株)
(株)プレスマディア
新潟エヌ・デー・ケー(株)
(株)北越ノバックス
(株)北都
岡徳真会グループ
丸三証券(株)
丸新グループ
(株)マルス
マルソー(株)
丸福証券(株)
(株)三城
(株)三ツ葉パーツ
源川医科器械(株)
富川ローラー(株)
角みやけ食品
(株)メイソンシステム
モトレーンニガタ(株)
森井紙器工業(株)
ヤマト運輸(株)
ユニー(株)
(株)リビングギャラリー
(株)リンクコーポレーション

昨今の採用状況には若干の改善が見受けられますが、大学卒業予定者の採用基準は年々厳くなっています。容易に就職できる状況ではありません。そのような状況の中でも、就職指導委員会は万全の体制で学生を支援して参ります。



種別	取得した資格	人数
I種	TOEIC730点	2名
II種	基本情報技術者(旧2種)	2名
II種	初級システムアドミニストレータ	23名
II種	中国語検定3級	2名
II種	日商簿記検定2級	3名
II種	CG検定2級	2名
II種	TOEIC600点	1名
II種	TOEFL500点	1名
II種	ロシア語能力検定試験3級	2名
II種	インターネット検定シングルスター	23名
II種	秘書技能検定2級	17名
II種	建設業経理事務士2級	5名

在学中にさまざまな資格試験に挑戦しようという学生たちを、本学では積極的にバックアップしています。資格取得や認定試験などの情報提供はもちろん、資格取得者へ奨励金を出しています。その奨励金の授与式が、平成17年1月19日に行われました。資格を取得できた皆さん、おめでとうございました!! 他の皆さんも今日から、がんばりましょ!!

資格取得奨励金授与式

『キャリア開発1・2』開講!!

平成17年度から、本学は新たに『キャリア開発1・2』を開講しました。

学生の進路選択と夢のキャリア実現へ向けた歩みをサポートするのが、その目的です。

多くの大学が、今では当たり前のように、学生向けの就職活動支援セミナーを開いています。しかしそうしたセミナーは、多くの場合、太学での本来の勉学から離れ、一方的な単なる技術伝達の場になりがちです。本学は、キャリア教育を大学本来の学習とつないでいきます。いや応なく襲いかかる情報化と国際化の大波にのみこまれず、時代の動きを真摯に見つめ、自ら歩むべき道を見出すことでのきる人材の育成、この理念へ向けた講義や演習の学習をベースに、学生一人ひとりのキャリア実現をサポートしていくこと、これが新規開講科目『キャリア開発1・2』のねらいです。

講義の内容は、卒業後のさまざまな進路について、できる限り早い段階で考える力を育て、3年次後期からはじまる就職や進学など進路決定に役立ててもらうことに重点が置かれます。具体的には、第1に、「就職活動に必要なもの」を網羅できるように、アレもコレも詰め込む方式ではなく、一つひとつの講座が「自らキャリアを計画する」という目標に向かって「進んでいく」体系をとります。また第2に、半分以上の授業でシートの記入やグループ・ワークを取り入れ、座学に終わらない参加型の形式をとります。その結果、キャリアをテーマにしながら、日常生活の中でも活用できる興味・関心、スキルの育成を目指していくので、学んだことをすぐにつかしていくことができます。こうした内容の講義を、専門家の招聘により進めるとともに、本学専任教員が本学のカリキュラムに即した学習とつないでいくためのガイダンスを

適宜行っています。新潟国際情報大学の今後、キャリア教育に、ご期待ください。

情報文化学科のキャリア目標

情報化の波は、とどまることなく国際化を押し進めています。それに伴います多く文化が、相互に交差するようになってきました。情報文化学科のカリキュラムと学生指導は、こうした状況を真摯に見えます。そして、国境をはじめとするさまざまな垣根を越え、人と人、地域と地域を結び合わせゆく人材の育成を目指しています。目標とするキャリア実現の方向は、次の6つです。①人の出会いをサポートする仕事（観光・旅行業）
②文化の新たな創出に貢献する仕事（出版・印刷・広告・その他メディア関連）③人材の育成をサポートする仕事（教育機関・産業）
④公共性の実現を目指す仕事（公務員・農協）
⑤市民による公共空間づくりをサポートする仕事（NPO・社会福祉団体・医療関連団体）
⑥大学院進学。すでに多くの卒業生が、こうした方向で活躍しています。そのネットワークは、情報文化学科を卒業とうとする学生たちにとって、大きな資産になっています。

情報システム学科のキャリア目標

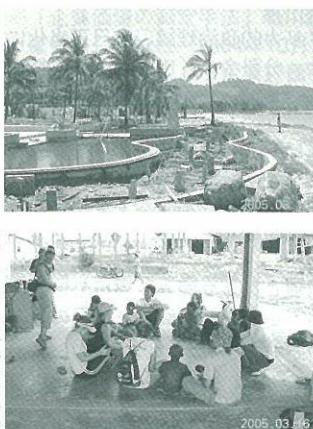
食店（結婚式場やホテル等）23%、製造業（出版・印刷も含む）が65%、金融・保険（銀行等）6%、公務員5%、その他（運輸・通信・建設等）35%です。情報通信業が少ないのに理由が2つあります。ひとつは他の業種に就職し、そこでコンピュータシステムを開発している卒業生がいるためです。ふたつめはコンピュータシステムを作ることに加えて“うまく利用すること”も本学科の目標だからです。そのため、人と人とのつながり（会社、役所など社会全般）についても学びます。その力を生かしモノを作った人と買ひ人をつなぐ卸・小売業（スーパーマーケットや自動車販売等）が36%、サービス業・宿泊業・飲食



スマトラ沖地震津波と私たち
タイの被災地を訪問
学内で募金活動とシンポジウム
2004年12月26日にスマトラ沖で発生した大地震で、大津波が発生して30万人の人々が犠牲となりました。私たちは、この災害を他人事とは考えず、学生と教員で「スマトラ沖地震津波アクションネットワーク」を立ち上げ、学内で募金とシンポジウムを行いました。募金は1月20日から28日まで学生ホールで行い、5万8688円が集まりました。教員からも18万円を募り、その他の合わせ、総額28万8688円を日本で有名なNGO組織であるJVCに託すことになりました。ここにご報告とともにお礼申し上げます。

今回の津波では、貧困や政治的不安定が被害を大きくし復興の障壁にもなっています。そう考えると、被災者への支援は他者の痛みに対する共感としてであるとともに、その貧困と政治的不安定に一端の責任のある先進国に住む私たちの責務ではないかと思えます。このような思いから、3月中旬に2年高橋ゼミの学生有志が実際にタイの被災地を訪れて、被災者をお見舞いするともに、現地で活動するタイ国内外のボランティアと意見交換してきました。（情報文化学科教授 高橋正樹）

本学科で“情報通信業（コンピュータ関係）”に就職する学生は20%（平成15年度）でした。意外と少ないと感じますか？ ちなみに卸・小売業（スーパーマーケットや自動車販売等）が36%、サービス業・宿泊業・飲食



問われる地域貢献

情報システム学科教授
宗澤 拓郎

永年に渡り本学に多大な功績を残されました原口先生・宗澤先生が、定年を迎られました。退職を惜しむ声が多い中、両先生の最終講義が2月5日(土)午後1時から本校で開催されました。当日は、在学生や卒業生の皆さん、教職員など、180名以上の方々が参加。原口先生は「私の70年」、宗澤先生は「SWANのあゆみ」という演題で最後の講義を行いました。

原口先生・宗澤両先生には、開学以来11年間、本学の発展のためにご尽力いただきたいことに、あらためて感謝を申し上げることとともに、今後の「ご活躍」「ご健勝」を心よりお祈りいたします。

元来本学は私立大学の少なかつた新潟県民のために、新潟市約50%、新潟県25%、企業等からの寄付25%により、いわば第3セクター的に設立された。まず第1の目的は県内出身者が95%に達するという事実により十分に達せられたといえよう。また今回の大合併により恐らく大新潟市出身者は75%を超えると思われる。そうなると第2の目的は、今後我が大学としてこの大新潟市のためはどう貢献していくかが問題となる。それは地域貢献しかない。勿論過半の人

が地元企業に就職していることから当然だということになるが、もう一步すすめてこの大学としてどのように地域貢献していくかが問われる時代となるであろう。新潟はIT後進県だけあって、それは新潟県が20人規模の中企業が90%を占め、これら小規模企業は自分の専門を維持していくのが精いっぱい、とてもIT化の余裕が無いというのが実態である。そのため大学が進んで最新のITを啓蒙普及し、首都圏大企業との遅れをできるだけ小さくすることが重要である。大学法人、教員、学生が大いに自主的に貢献するという風土を作り上げることが大切である。これは語学とて同じこと、ビジネスの国際化が進む中、ちょっとした言葉のお手伝いが大いに地域貢献した結果となる。

このようなそれぞれの立場での地域貢献を考えることが、新潟における本学の存在価値を高め、競争激化時代の大学として生き抜くことができるものと信じる。

原口先生・宗澤先生 最終講義を開催

学生と真剣に対峙
原口 武彦

情報文化学科教授



最終講義を終え、花束を贈呈される
宗澤先生(上)・原口先生(下)

3月末をもつて、私は11年間お世話になつた本学を定年で退職する。私の場合、単に教職を辞するだけでなく、11年間住みなれた新潟の「空」「風」「光」にも別れを告げなければならぬので、寂しさもひとしおである。私にとって思い出深いことの一つは、やはり学生のみなさん(総計105名)と真剣に対峙した卒業研究のことである。

あなたもほとんどの学生たちと同じように、最初は卒業のためにおしつけられたものとして、卒業論文のことをしぶしぶ考えはじめた。まず自分の論文のテーマ探しがひと仕事だったね。「卒業論文を仕上げるには、少なくとも100時間を投じなければならないのだから、自分の関心にそぐわないものには手を出さない」とは私のきまり文句だった。二転、三転してやっとテーマが決まり、あなたは得意のインターネットで検索して、その一部をプリントしてきた。

さよなら 新潟国際情報大学、そして新潟。
「これは人さまの文章を書き写してきただけじゃないか。人さまの文章はそれとはつきりわかるよう、引用符を付すこと。引用文がどれほど多くなつてもいい。でも大切なのは、それを引用したあなたが自分のことばで何をいうかだ」。

私が何回も手直しするのを、最初は人ごとの

ように眺めていたあなただが、提出日が間に近にせまつてくると目の色が変わってきた。そして「私としては、そこは先生のいうとおりには直したくない」とあなたはきっぱりいつの

けた。この一言を私はじつと待っていたのだ。かくして完成した卒業論文は、これからあなた的人生にとって、心のよりどころになるものと私は確信している。

宗澤拓郎 (情報システム学科・教授)

- 'A Proposal of the Friendly Mobile Phone for Senior Citizens', International Symposium on Management of Technology and Innovation '04, October 2004, pp.785-789.

2) 研究発表

青淵正幸 (情報システム学科・助教授)

- 「社会的責任と企業価値」(共同報告) 日本経営分析学会第20回秋季大会、立教大学、9月18日。

小澤治子 (情報文化学科・教授)

- 「ロシアの外交戦略と米国のユニラテラリズム:イラク戦争開始後の米露関係を中心に」ロシア東欧学会・共通論題「ロシア・東欧と米国とのユニラテラリズム」北海道大学、10月10日。

越智敏夫 (情報文化学科・助教授)

- 「市民文化論の統合的機能:アメリカ的政治理論の自己正当化について」日本政治学会総会・研究会・分科会C「市民政治を可能にするもの:その政治理論的応答」札幌大学、10月2日。

佐々木桐子 (情報システム学科・講師)

- 「電子投票システムのシミュレーション解析」オフィス・オートメーション学会、久留米大学、9月19日。

原口武彦 (情報文化学科・教授)

- 「コートジボワールの地場食品流通とジュラ商人」東京外国语大学アジア・アフリカ言語文化研究所・小生産物(商品)資源の流通と消費研究会、東京外国语大学、11月27日。

広瀬貞三 (情報文化学科・教授)

- 「今井田清徳政務総監の朝鮮支配認識」第55回朝鮮学会大会、九州大学、10月3日。

●新任教員紹介●

小山田紀子

情報文化学科
教授

担当講義
異文化理解
現代アフリカ論
比較宗教論
エスニシティ論

専門分野

マグレブ近現代史。特にアルジェリアのフランス植民地化の歴史と脱植民地化の問題を研究対象としている。



経歴

津田塾大学学芸学部国際関係学科卒業、津田塾大学大学院国際関係学研究科博士課程単位取得満期退学、吉備国際大学社会学部助教授

小野陽子

情報システム学科
講師

担当講義
システム数学
数値実験法
オペレーションズリサーチ2

専門分野

計算機統計学、代数的形式化と計算機上の自動証明システム構築。



経歴

東京理科大学工学部経営工学科卒業、東京理科大学大学院工学研究科博士課程経営工学専攻修了、島根県立大学講師

山田尚史

情報システム学科
講師

担当講義
経営と組織
経営と情報
ベンチャービジネス

専門分野

経営学。現在は、インターネット市場に関する研究を行っている。



経歴

学習院大学経済学部経済学科卒業、学習院大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学、学習院大学経済学部非常勤講師

3月4日(金)・5日(土)、第39回数理社会学会が新潟中央キャンパスで開催されました。数理社会学会は、数学を用いて理論的・計量的に社会に関する研究を行なう学会です。社会学をはじめ、経済学・政治学・心理学・社会工学・社会情報学・生物学・統計学などにもわたり、情報文化学部と多くの分野が重なっています。会員数は現在308名ですが、年2回学会大会が開催されますが、今大会には70名の方にご参加いただき、ゲーム理論・社会的ジレンマ・メディアへの計量的アプローチ等の20件の発表の他、「社会関係資本論のフロンティア」と題したシンポジウムが行われ、大変活発な議論がなされました。本学からは第5期卒業生の高橋尚子さん（中央大学大学院文学研究科社会学専攻博士後期課程在学中）が「選挙戦力としての政治家ホームページ－ユーバビリティ・アクセシビリティの視点より」、私が「努力による配分と機会の平等の認知・評価の関連－責任平等主義はどこからくるのか」というタイトルで発表しました。

私が大会委員長を務めさせていただきましたが、本学の卒業生・在校生、本学事務局の方々のご助力で無事に大会を終えることができたことを、ここにご報告申し上げます。

2004年度本学紀要 発行案内

今年も本学紀要が発行されました。内容は以下の通りです。なお、図書館のWebサイトから、これまでの紀要をPDFで読むことができます。

■人文科学分野

『オックスフォード英語大辞典』(OED)で『欽定英訳聖書』(AV, 1611)を読む；owe, ought, ownの意味・用法・歴史

—— (苅部 恒徳)

韓国語教育における助詞「豆」の教育方法研究

—— (徐 希姫)

ロマンティック・クイア；草野マサムネ ジェンダー試論

—— (矢口 裕子)

戦争、諸国家システム、国家；歴史社会学の国家論の可能性と問題点
—— (高橋 正樹)

新生活文化を創造するIT経営
—— (宗澤 拓郎)

■情報システム分野

ファジィ理論を用いた画像の特徴抽出

—— (河原 和好)

夏期セミナーにおける日本語環境構築

—— (河原 和好・永井 武)

ビジネスアプリケーションのための新しいアクセス管理の視点
—— (桑原 悟)

旅行者中心の旅行支援システムに関する一考察
—— (楢木 公一)

通信行政の護送船団方式をくずしたIP電話技術とその普及
—— (永井 武 ほか)

電子自治体推進の現状と課題；新潟県における自治体調査および住民調査の分析
—— (山口 直人 ほか)

教員の活動 (一般向け執筆・講演)

(04年下半期・本人申告による)

1) 学術論文・図書

青淵正幸 (情報システム学科・助教授)

- 「企業価値の測定手法」亀川雅人編著『ビジネスクリエーターと企業価値』創成社（2004年10月、全252頁）第9章所収、235-248頁。
- 「DCFモデルによる企業評価：FCFの構成要素別による測定」『経営哲学』第1巻、2004年7月、125-128頁。

臼井陽一郎 (情報文化学科・助教授)

- 「EU：欧州統合の意味変容」小川有美・岩崎正洋編著『アクセス地域研究Ⅱ：先進デモクラシーの再構築』（2004年8月、全257頁）所収、43-63頁。

苅部恒徳 (情報システム学科・特任教授)

- 翻訳『オックスフォード英語大辞典物語』（サイモン・ワインチスター著）研究社、2004年8月、全320頁。

小林元裕 (情報文化学科・助教授)

- 「遼寧省の市場経済発展と企業改革・中小企業：瀋陽の事例から」（共著）仲田正機他編『東北アジアビジネス提携の展望』文眞堂（2004年10月、全227頁）所収、60-78頁。

澤口晋一 (情報文化学科・助教授)

- 「Vegetation development on the glacier moraines in Oobloyah Valley, Ellesmere Island, high arctic Canada」(a joint paper), *Polar Bioscience*, No17 (2004), pp.83-94.
- 「北極圏カナダ、エルズミア島オーブロイヤー湾地域における第四紀後期の氷河作用」(共著)『駿台史学』、第123号（2004）1-28頁。

長坂格 (情報文化学科・講師)

- 「Cellular Phones and Filipino Transnational Social Fields」, *Pilipinas: A Journal of Philippine Studies*, Vol. 40 (2004), pp.44-54.

平田透 (情報システム学科・助教授)

- 「知的財産マネジメントの進化」永田晃也編著『知的財産マネジメント』中央経済社（2004年7月、全170頁）第4章所収、65-88頁。
- 「知的財産部門の機能と人材」(共著)前掲書第5章所収、89-116頁。
- 「組織間における知的財産マネジメント」(共著)前掲書第6章所収、117-130頁。
- 「日米企業の比較」(共著)前掲書第7章所収、131-144頁。

高校生はじめどなたでもご参加できます!

OPEN · CAMPUS 2005

オープンキャンパス

1回目 7/23土・2回目 10/1土

10:00~15:30

会場 本校みずき野キャンパス
新潟市みずき野3-1-1 TEL 025-239-3111 JR越後赤塚駅下車徒歩7分

学科及びカリキュラム説明

入試情報説明

入試問題の傾向と対策

模擬講義

コンピュータ実習

語学体験

個別入試相談

就職相談

海外留学相談

学生との懇談

学内見学



*変更となる場合もありますので、事前にご確認ください。

参加お申し込み・お問い合わせ

新潟国際情報大学

広報係

〒950-2292 新潟市みずき野3-1-1
TEL.025-239-3111 FAX.025-239-3690
E-mail soudan@nuiis.ac.jp

進路ガイダンス

○開催日

4月23日(土) 11:10~15:40

○会場

新潟中央キャンパス

新潟市上大川前通7-1169 TEL 025-227-7111

JR新潟駅万代口より市内バス5分 本町下車徒歩1分

>>>スケジュール

10:45~11:10 受付

11:10~12:10 「進路選択のポイント」

講演「進研プレス」編集長 関一憲 氏

12:10~13:00 昼食 (パンケットホールで試食ください。無料)

13:00~14:15 「大学ってどんなところ?」

パネルディスカッション

パネリスト

新潟県教育庁 高等学校教育課

大学等進学推進班 指導主事 吉井裕也 氏

東京学館新潟高等学校 前進路指導部長 石田光憲 氏

株式会社三越 新潟店長 相蘇恒孝 氏

進研プレス 編集長 関一憲 氏

新潟国際情報大学 学生部長 赤木敏子

14:20~14:35 入試結果速報報告

14:40~15:40 「大学の魅力!!」

本学学生によるパネルディスカッション

平成18年度 入学者選抜試験概要(要約一覧)

入試区分	募集人員		出願期間	試験日	試験地	試験実施教科・科目	合格者発表日		
高校長推薦入試	指定校制	情報文化学科 10	30	17年11月1日(火)～ 17年11月8日(火)	17年11月13日(日)	新潟	本学が指定校と定めた高校長あてに推薦依頼を行います。		
		情報システム学科 20					17年11月17日(木)		
	公募制	情報文化学科 30	65						
一般入試	スポーツ	情報文化学科	若干名			面接・小論文 学力推薦要件については募集要項で確認ください。	18年2月7日(火)		
		情報システム学科							
	大学入試センター試験利用	情報文化学科 15	35	18年2月1日(水)～ 18年2月15日(水)	18年1月21日(土)、22日(日) の入試センター試験を受験 していること	新潟上越	面接・小論文 対象種目については募集要項で確認ください。	18年2月24日(金)	
		情報システム学科 20					学科試験を課さず、18年度のセンター試験の成績で判定。全教科の中から2教科2科目選択配点:各教科100点。 (3科目以上受験した場合は高得点の2教科2科目を合否判定に使用)		
社会人入試	後期	情報文化学科 10	25	18年2月17日(金)～ 18年3月2日(木)	18年3月8日(水)	新潟	国語:国語総合(現代文)・現代文 数学:数学Ⅰ・数学Ⅱ (数学Ⅱは、微分・積分を除く) ・外国語:英語Ⅰ・英語Ⅱ 上記3教科の中から2教科を試験場で選択	18年3月11日(土)	
		情報システム学科 15					国語:国語総合(現代文)・現代文 数学:数学Ⅰ・数学Ⅱ (数学Ⅱは、微分・積分を除く) ・外国語:英語Ⅰ・英語Ⅱ 上記3教科の中から2教科を試験場で選択		
(注) 情報文化部の定員は、情報文化学科100名、情報システム学科150名、合計250名です。	情報文化学科	若干名	17年11月1日(火)～ 17年11月8日(火)	17年11月13日(日)	新潟	面接・小論文	17年11月17日(木)		
	情報システム学科								

本学独自の 奨学金制度(給付)

- 学費特別給付奨学金(全学年対象) 授業料全額又は1/2
- 表彰奨学金(2~4年生対象) 10万円
- 海外派遣留学・海外研修奨学金(2年生対象) 15万円~20万円
- 資格取得奨励奨学金(全学年対象) I種5万円、II種2万円

- 学費臨時給付奨学金(全学年対象) 授業料・施設設備費の当該期分全額又は1/2
- 学費奨学融資制度奨学金(3・4年生対象) 借入利息相当額

○入試と奨学金の詳細については事務局までお問い合わせ下さい。 TEL025-239-3111 E-mail gakumu@nuiis.ac.jp

かけがえの無い友人との出会い、仮装大会と化したスポーツ大会、民族大移動のようなゼミ合宿、友人と他の他愛の無い会話など、本当に多くの思い出がある。その中でも、私の学生生活を大きく変化させ、多くのことを学ぶキッカケとなり、決して忘れることがないことが、アムネスティn.u.i.sでのサークル活動である。

アムネスティn.u.i.sでは、人権や世界問題について考えてもらいうきッカケとなるようなイベントを開催してきた。それらのイベントでは、留学生や他大学の学生との交流だけでなく、社会人の方々との交流もあり、さまざまな意見や考えと触れ、幅広い視野を持つことができた。またイベントを計画し、開催するまでの過程で多くの問題が起り、イベントの開催が危ぶまれることもあった。しかし、そのような逆境の中で、問題を一つ一つ解決し、より良いものにするために決してあきらめずに、努力することが必要なだと学ぶことができた。

このようなアムネスティn.u.i.sの活動を通して学んだこと経験したことは、これから的人生においても、役立つことであり、教訓となることだと思う。また、4年間の大学生活で学んだことを忘れずに、社会に出ても世界の諸問題に目を向けていきたいと思う。

持つことができた。またイベントを計画し、開催するまでの過程で多くの問題が起り、イベントの開催が危ぶまれることもあった。しかし、そのような逆境の中で、問題を一つ一つ解決し、より良いものにするために決してあきらめずに、努力することが必要なだと学ぶことができた。

この4年間の大学生生活は、とても有意義で意味のあるものでした。例えば、学業においては、幅広い教養を身につけられた授業、自分の力を伸ばせたアメリカ留学、大学での集大成ともいえる卒業論文、人の出会いの大切さを学んだ就職活動などが挙げられます。その他に、お客様に対する笑顔と会話を大切にする、笑顔と会話を大切にする、笑顔と会話を大切にするなどがあります。

最後になりましたが、あたかくご指導をしてくださいました先生方、いつも私の支えとなり、楽しい大学生生活とともに送ってくれた友人、異文化を満喫できた海外旅行などがあります。

4月からは、社会人の仲間入りをすることになります。仕事に予行練習などなく、毎日が本番で失敗は許されません。それが働くということなのでしょうが、プレッシャー

はとても大きいです。基本的に大きなことを、一つ一つしっかりと覚えていき、先輩や上司の助言や注意を大切にしていきたいと思っています。

アメリカが単独で踏み切ったイラク攻撃と現在も混迷を極めるイラク情勢などさまざまなかつたことがあります。学生時代に学び、経験したことが、この先の私の基礎となつてきています。

この大学を卒業して本当によかったです。これらの新しい生活に不安がないわけではありません。ただ、何が正しかったのかなんて、おそれくいつになつても分かることはないでしょう。

自分が歩んできた道を信じ、自分の選択であることを肝に銘じ、自分で責任を取ることを心がけたいと思います。

月11日世界中に凄まじい衝撃をもたらしたアメリカ同時多発テロ事件、それに続くアメリカのアフガニスタン侵攻、

かけとなつて、かけがえのない出会いや体験をもたらしてくれることを実感しました。良い知人を得、よき指導者に出会い、たくさん

の経験を積んだ6年間でした。

得たものはとても多かったし、この大学を卒業して本当によかったです。

かけがえのない出会い

月11日世界中に凄まじい衝撃をもたらしたアメリカ同時多発テロ事件、それに続くアメリカのアフガニスタン侵攻、

かけとなつて、かけがえのない出会いや体験をもたらす

平成16年度 卒業式

（羽ばたけ未来へ）

（※一部抜粋）

学長告辭



新潟国際情報大学長
武藤輝一

常に新鮮化を図り
希望に溢れ、澆刺と活躍を

卒業生の皆さんご卒業おめでとう。

この日を迎えた卒業生の皆さんに、またご父母の皆様に、新潟国際情報大学の役員、教職員一同を代表して心からお祝い申し上げます。

この度の本学卒業生は、情報文化学科一名、情報システム学科一六九名合わせて、教職員一同を代表して心からお祝い申し上げます。このように澆刺として希望と期待に溢れ、前途有望の皆さんを送り出します。このように新潟国際情報大学にとりまして大きな誇りであります。

四年前、入学式に申し上げましたように、学生生活の一日一日を悔いなく過ごすことができましたか。思い出の一つ一つが走馬灯のように流れたり、懐かしさは尽きぬことであります。実社会への出発には一抹の不安があるかもしれません、一方では希望も期待も大きいことでしょう。固い信念と自覚を持つて、努力して自らの道をつくり上げてください。

平成一九年春には、高校を卒業して大学受験する人に浪人生で大学受験する人を加えた数は、全国の国公私立大学新入生受入数と同

数になるといわれています。既に現在でも定員に満たない学部や学科を持つ大学がありましたが、幸い本学では、本年春の入学者の数にも変わりはないようです。これも卒業生の皆さんが広い分野で大いに活躍し、本学の存在価値が認められているからであります。

第八回卒業生の皆さんを加えて、創立以来の卒業生総数は二、三五六名にも達します。

さて、二一世紀に入り情報技術やシステムはグローバルに著しく進歩し、遺伝子多型、特生物細胞技術が実用化され、遺伝子多型、特に塩基多型は多く解明され、それが広い分野で利用されています。皆さんのがこれから勤務するどのような組織においても、今後の変化は速いものであります。情報システム学科の諸君が一年次の夏季に学んだのは、カナダ・アルバータ大学のファカルティ・オブ・コンティニューアリング・エデュケーション、即ち生涯学習学部でした。時の流れに取り残されて、自分のあり方に迷うことがないよう、常に知識や技能を向上、新鮮化するよう心がけてください。生涯学習を、重い荷を背負って山道を登る如くには考えず、当たり前のことをと考へて下さい。

ところで、これから的人生では、いろいろな悩みや迷いに遭遇することがあるでしょう。このような時には、近親者、友人、先輩、後輩の批判に素直に向き合い、温故知新・古きをたずねて新しきを知り、それまでの道により一層専念するとか、自らの生活様式を変えるとか、また冷静に自らをよく見つめながら判断してください。

周知の如く、近年、日本企業のアジア、とくに中国への移転が増え、安価な輸入品が急増し、経済は停滞し、雇用も著しく減少してきました。その結果、昨年、一昨年の全国

の大学卒業者の就職率は低下していましたが、最近の経済状況の回復により、本年春の就職率はいくらか回復するようで、本学も同様と思われます。皆さんが在学中に会得された知識と技術を遺憾なく發揮され、それぞれが所属する企業や機関の牽引車となるべく努力されよう祈念致しております。

昨年、新潟県内を襲った水害と地震では、被災された学生諸君とご家族の方が少なくありませんでした。頑張ってくださいと申し上げる他に言葉はありませんでしたが、雪解けの春を迎える元気になりつつあるご様子を拝見し、ほっと致しております。

柳桜をこきませて、彩り明るく和やかな四月には、皆さんは晴れやかな面持ちで、希望に溢れ、澆刺と活躍していることでしょう。

皆さんのご卒業を心からお祝い申し上げると共に、みなさんの前途に幸多かれと祈り、皆さんを送る言葉と致します。

先輩たちは、一般企業や公務員として就職するほかに、ヨーロッパやアジアなど海外で活躍したり、また大学院進学や起業家を目指すなど、多岐にわたって活躍し、高い評価を得ており、今後の活躍がますます期待されています。

皆さんも在学中の四年間は、情熱溢れる優秀で個性豊かな教授陣と、恵まれた教育環境のなかで充実した学生生活を送られたことだと思います。しかし、これから皆さんが活躍される社会は、想像以上に厳しいものがあると思われます。喜びと不安の同居する複雑な心境でしょう。

国際化、情報化はさらにスピードを増すとともに間違いありません。中国をはじめとするアジア地域の経済活動の国際化、楽天やライブドアといった情報系企業の多方面への進出等、すでに新たな変化が生まれてきております。

皆さんのが学んでこられたことは、まさにこのような時代の要請に応えるものであります。若さゆえの失敗や間違いもあると思いますが、本学で培った能力を存分に發揮し、恐れず、ひるまず、常に前向きに取り組んでください。



学校法人新潟平成学院 理事長
小澤辰男

理事長祝辞

時代の要請に応え
存分に能力發揮を

ただ今、学長のお話にもありましたように、今年度は新潟県にとって試練の年でした。水害、地震、大雪どれ一つをとっても過去に例を見ない災害でした。中越地域を中心に甚大な被害に見舞われ、本学でも合わせて三五名の学生の家庭が被災されました。心からお見舞いを申し上げるとともに、完全復旧には

まだまだ時間がかかると思われますが、一日も早い復興を願うばかりです。大学としては、これらについて奨学制度を適用し、授業料の減免等の措置をしたところです。

さて、本学は国、地域、人間の文化を尊重しつつ、国や地域を超えて、国際化、情報化社会に貢献できる人材の育成を目指し、平成六年に開学して、この間七回の卒業式を経て二、〇〇〇名を超える学生を送り出して参りました。

さて、本学は国、地域、人間の文化を尊重しつつ、国や地域を超えて、国際化、情報化社会に貢献できる人材の育成を目指し、平成六年に開学して、この間七回の卒業式を経て二、〇〇〇名を超える学生を送り出して参りました。

さて、本学は国、地域、人間の文化を尊重しつつ、国や地域を超えて、国際化、情報化社会に貢献できる人材の育成を目指し、平成六年に開学して、この間七回の卒業式を経て二、〇〇〇名を超える学生を送り出して参りました。



新潟ゼロックス(株)取締役社長
松田 完

夢は大きく
高い目標を持つて

私どもは本学と開学以来お付き合いさせていただき、優秀な学生さんを毎年いたでいております。一番上の方で八年目になろうかと思います。今日の卒業生の中で大山政子さんが二列目にいらっしゃいますけど、ちょうど一〇人を数えるに至りました。非常に大きな勢力で、新潟ゼロックスの中では一大学閥ではないかなと思います。いずれもまだ二〇代の方ばかりで、中堅の幹部という話がもうそろそろ出てきそうな状況でございます。非常に皆さん優秀で一生懸命仕事をされており、本当に私も頼もしく思っております。

先ほど小澤先生からお話をありましたところ、皆さんが卒業されるということは、期待に胸膨らませて社会人として船出をするということではないかと思います。私も社会人の一先輩として、皆さんに何か一言エールを送られればと考えてまいりました。

皆さんは今まで比較的恵まれた環境の中で育つていて、何か自分で得ていくと、自分が少しまだ足らないかなと思います。これからは、ぜひ自分が主体的になって自分の道を切り開いていただきたい。そういうふうにすることが、人生を十倍、二十倍、百倍楽しくすることの近道じゃないかなという気がいたします。夢を高く持つていてくださいこと、大きな夢を持っていたら、これを是非、一先輩がこんなことを言つたと覚えておいでただければと思います。

情報文化人として考え、
行動し、社会に貢献を



情報システム学科(総代)
吉田 基

卒業生答辭

ちょうど今、皆さんが社会人としてスタートするときに適切かどうかわかりませんが、夢を大きく持つということ、高い目標を持つということの大切さは伝わるのではないかと思つてお話をさせていただきました。

もつと身近な言葉で言えば、背伸びしなければ背は伸びない、ということを最後に申し添えて祝辞とさせていただきたいと思います。

私は、この四年間で多くのことを学ぶチャンスを与えたと思っています。カナダ留学では、生きた英語を体感し、吸収することができました。またIT企業を訪問し世界最先端の技術に触れるものもできました。ロッキーの山々は豊かな自然をたたえ、レイク・ルイーズの湖面に鮮やかに映つておりました。おかげがない自然、地球環境の大切さを再認識し、守り育てゆかねばならない、そう実感した旅でもありました。卒業研究では、まだ日本で数冊しか文献のないJMF、ジャバ・メディア・フレームワークを開発しました。

本日は私たち卒業生のために、このような盛大な卒業式を挙げていただき、誠にありがとうございました。また多忙の中をご出席くださいました御

こういう席でお話するとすぐ忘れ去られます。武田信玄は「風林火山」という旗印をかかげて世の中に打って出たわけですが、その最期を見てみると、信玄は「風林火山」という旗印をかかげたことで最終的には「風林火山」でしかなかったと。もう一方で、織田信長は千載一遇のチャンスをものにして、普通は負けるだらうと思われた今川義元との戦いに勝った。そして、勝った瞬間に次のステップを考えた。つまり尾張から自分の居城を岐阜に移し、そこで掲げた旗印が「天下布武」。武をもつて天下を平定するんだという高い大きな望みを掲げて、これを旗印にして戦いをスタートしたわけですね。これが後に大きな違いになつて歴史に刻まれている。

ちょうど今、皆さんが社会人としてスタートするときに適切かどうかわかりませんが、夢を大きく持つということ、高い目標を持つということの大切さは伝わるのではないかと思つてお話をさせていただきました。

しかし、悲しい出来事ばかりではありません。新潟国際情報大学は創立一周年という節目を迎え、私たちは勉学に取り組む決意を新たにしたと思います。新潟中央キャンパスが開校し、高速ブロードバンドを備えた新潟市中心部施設として、立地を活かした国際交流や、社会人教育の場としてスタートしました。そして、私たちが最初に卒業研究で利用させていただきました。このような数々の出来事は、一方で、いつも私たちに変わらぬ修学環境を整えてくださった多くの人たちへ、感謝の気持ちを持つと同時に、大学としてのさらなる進化を、予感から確信へと変えるものでした。

私は、この四年間で多くのことを学ぶチャンスを与えたと思っています。カナダ留学では、生きた英語を体感し、吸収することができました。またIT企業を訪問し世界最先端の技術に触れるものもできました。ロッキーの山々は豊かな自然をたたえ、レイク・ルイーズの湖面に鮮やかに映つておりました。おかげがない自然、地球環境の大切さを再認識し、守り育てゆかねばならない、そう実感した旅でもありました。卒業研究では、まだ日本で数冊しか文献のないJMF、ジャバ・メディア・フレームワークを開発しました。

来賓の皆様、並びに関係者の皆様に、卒業生一同、心よりお礼申し上げます。

私たちが大学生活を過ごした四年間は、世界に目に向ける大きな出来事がたくさんあります。9・11、イラク戦争、スマトラ島沖地震、そしていま解決には至らない北朝鮮拉致問題などです。その都度、憤り、あるいは悲しみ、私個人の非力さを憂うことが幾度となくありました。新潟におきましても、7・13水害や中越地方を襲つた地震で、多くの傷跡を残すこととなつてしましました。

しかし、悲しい出来事ばかりではありません。

新潟国際情報大学は創立一周年とい

うとになるでしょう。それが私たち情報文化が進展しています。それは、国と国、地域と地域、あるいは異なる文化同士、人と人の結びつきを、密接に起こすものでなければなりません。私たちは、情報技術の成果を享受しつつ、グローバルな視野で、喜びや悲しみを共有し、考え、行動に起こすことが、社会に貢献し、ひいては人類の福祉に貢献することになるでしょう。それが私たち情報文化を修めた者の使命であると考えます。

最後になりましたが、学問の大切さと面白さを教えていただいた諸先生方、私たちを親切に支えてくださった事務局の皆さんと家族、さらに苦楽と共に過ごしたかけがえのない多くの仲間たちに感謝致します。今後の新潟国際情報大学の更なる発展を願い、私の答辭とさせていただきます。

祝電

●新潟県知事

●新潟市長

●日本私立大学協会 会長

●新潟商工会議所 会頭

●上越教育大学 学長

●長岡技術科学大学 学長

●敬和学園大学 学長

●長岡大学 学長

●長岡造形大学 学長

●新潟医療福祉大学 学長

●新潟産業大学 副学長

●新潟青陵大学 学長

●新潟総合警備保障株式会社 代表取締役社長

●株式会社 フォーラムエンジニアリング 代表取締役

●株式会社 北都 代表取締役

●代表取締役 宮口 一三

情報文化人としてのベースをつくられたことだと思います。

私たちのほとんどは、今日で学生生活を終え、それぞれの決めた道を歩んでゆくことになります。現在、世界規模で、情報システムが進展しています。それは、国と国、地域と地域、あるいは異なる文化同士、人と人の結びつきを、密接に起こすものでなければなりません。私たちは、情報技術の成果を享受しつつ、グローバルな視野で、喜びや悲しみを共有し、考え、行動に起こすことが、社会に貢献し、ひいては人類の福祉に貢献することになるでしょう。それが私たち情報文化を修めた者の使命であると考えます。

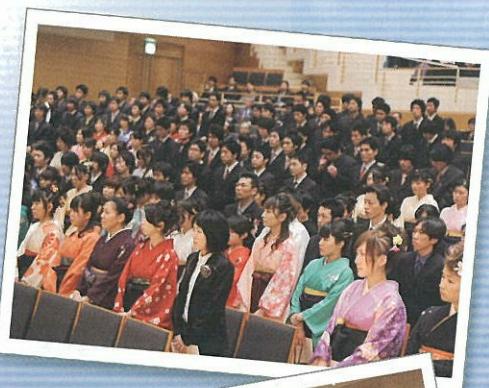
最後になりましたが、学問の大切さと面白さを教えていただいた諸先生方、私たちを親切に支えてくださった事務局の皆さんと家族、さらに苦楽と共に過ごしたかけがえのない多くの仲間たちに感謝致します。今後の新潟国際情報大学の更なる発展を願い、私の答辭とさせていただきます。



平成16年度 卒業生おめでとう 門出を祝い、決意新た

卒業式々場
平成16年度(第八回)
新潟国際情報大学

平成16年度第8回卒業式が3月23日新潟市民芸術文化館で行われ、280名(情報文化学科111・情報システム学科169)の卒業生は万感胸に学位記を授与され、決意新たに社会へ巣立つた。「時代の要請に応え大活躍を」と武藤学長らが激励し、卒業生を代表して情報システム学科の吉田基さんが答辞を述べた。恒例の卒業生主催の卒業記念祝賀会は、ホテル新潟で午後6時から開かれ、惜別と希望の語らいが続き門出を祝い合った。



平成16年度 卒業生特別表彰

学長賞 (学業成績優秀者)

情報文化学科(総代)
山倉 裕子

情報システム学科(総代)
吉田 基

課外活動賞

情報文化学科
大竹 样子

情報システム学科
浜田 拓実
西須 光代
世界的人権NGOであるアムネスティインターナショナルの支部の設立に尽力。

情報システム学科
バトミントン部に所属し、1年次にダブルスで全国大会出場。また団体戦でも中心選手として活躍し、北信越大会団体優勝に大きく貢献。

情報システム学科 剣持 勇一郎

陸上部に所属し、平成15年度新潟県選手権大会において2位入賞、また、同年第87回日本陸上競技選手権大会出場に大いに貢献。

情報システム学科 渋谷 俊和

陸上部に所属し、平成15年度北信越学生陸上競技選手権大会において5000mに出場し、3位入賞。

地域交流賞

情報システム学科 横山 悠

平成17年1月の新潟市産業活性化学生会議第6回学生提言発表において、国際都市新潟をアピールし、24チーム中4位で奨励賞を受賞。